

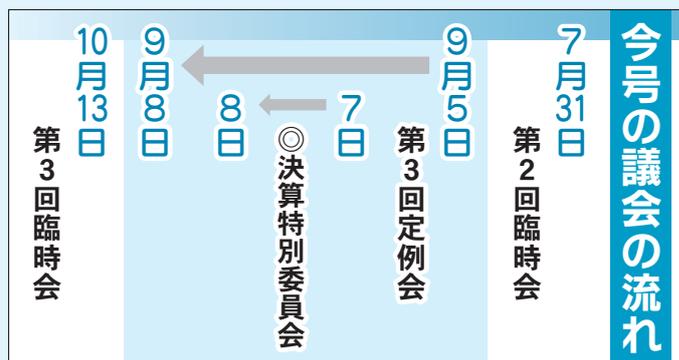
月形町 議会だより

No.
35
2024. 1. 1



久保奈月さんの書道パフォーマンス「共創」
(月形町町制施行70周年記念式典)

第3回定例会	2
決算特別委員会	7
第2回臨時会／第3回臨時会	9
北海道町村議会議員研修会	10
空知町村議会議員研修会	11
舞い降りて月形／編集後記	12



令和5年 第3回定例会

第3回定例会は、9月5日から8日までの4日間の会期で開催されました。

5日は、議案14件について審議し、すべて原案どおり可決・同意され、令和4年度各会計決算6件が決算特別委員会(我妻 耕委員長)へ付託されました。6日に一般質問が行われ、4議員から4項目の質問がされました。7日から8日までの決算特別委員会の中で、令和4年度各会計決算についての審議が行われ、その後、本会議において、決算特別委員会から審議の結果報告を受け、令和4年度各会計決算6件が認定されました。最終日には、そのほか意見案3件、会議案1件の審議を行い、原案どおり可決・承認されました。

質疑応答

令和5年度補正予算

●一般会計

■起業家等支援事業の 経営者は

問 農業用ドローンの業務を行う起業家は、町民の方であるのか。また事業形態としては、個人事業者、法人のどちらなのか。 【松田】

答 起業家は町外から移住され、農業用ドローンの販売、その他ライセンス取得講習などを実施する株式会社を設立・登記しているが、まだ起業はしていない。 【企画振興課長】

■全国から高校生を 募集する

問 地域・教育魅力化プラットフォームが実施する「地域

みらい事業」に参画するということとは、例えば、離島の奥尻島や礼文島の高校では、全国各地から生徒を集めているが、月形でも、月形高校生の全国的な募集を視野に入れるのか。 【松田】

答 道教委から月形高校の存続のため、募集停止にならないよう最後まで取り組むよう要請があった。諦めることなく、全国に募集活動する。 【教育長】

問 遠方から生徒が入学した場合、高校生の住環境は。 【東出】

答 下宿を引き受けていただけそうなところに打診をし、一定程度の了解をいただいている。 【教育長】

問 離島などは隔離された自然などで、都会との違いをアピールして受け入れが成功している。月形は何をアピールして参画するのか。 【我妻】

答 道内では、離島以外でもかなりの数の小規模校が参画している。近隣では、夕張高校も昨年から参画している。月形の豊かな農村風景、落ち

着いた学校環境を魅力として、月形高校と道教委が一緒になってパンフレットを作成し、全国にアピールして募集する。 【教育長】

■地域おこし協力隊活動

問 映像等撮影機材の借上げの目的とどこからどのような機材を借りるのか。 【我妻】

答 目的としては、皆楽公園観光拠点エリア等の映像コンテンツの素材集めなど、情報を発信する作業に使用する。町内事業者も含めて機材を取り扱っている事業者から、ドローン、ゴープロ、映像編集等に必要な周辺機材も含めて借り上げる。 【企画振興課参事】

■公共施設及び町内 団地解体工事の概要

問 解体される篠津開拓婦人ホームや札比内団地、北農場団地の建物の構造や面積等とアスベストが含有されているのかどうか。 【金子】

答 篠津開拓婦人ホームは木造、平屋建て、面積約34坪。飛散性のあるアスベストは含有されていないが、飛散性のないアスベストは確認されている。適正に処理できる工場での処理になり、坪当たり約11万8千円の解体単価になっている。 【総務課長】

答 北農場団地は約17坪、札比内団地は約53坪で、アスベストの調査では両建物とも外壁の板などの資材に飛散性の少ないアスベストが確認されたが飛散するようなものはなかった。 【農林建設課長補佐】

●町立病院事業会計

■入院収益が増額

問 見込みより入院収益が上がったとのことだが、その理由は。 【松田】

答 コロナなどにより入院患者が増えたためである。 【病院事務長】



若井 昭二 議員

暑さによって役場における 仕事の能率の低下が懸念されるが

《町長》 現段階では決断できないが検討はする

問

先月、伊達の小学校で2年生の女子児童が体育の授業後に熱中症とみられる症状で亡くなる痛ましい事故があり、道内の市町村でも熱中症対策に取り組んでいると思う。コロナ対策の一環として我が町では、児童生徒のために全教室への冷房設備設置により、猛暑日の中でも快適に授業を受けることができた。大切な税金が子どもたちのために使われたことに對し、町長、教育長の決断に感謝する。

公共施設の冷房設備についても、温暖化の影響で記録的な猛暑日が続き、公共施設利用者への熱中症対策として早急な冷房設備の整備が必要と感じる。高温によって、仕事の効率の低下や、樺戸博物館を見学されるお客様に対しても、施設内の不快指数が高くとゆっくり見学もできないと思う。

答

建物のほぼ全体に冷房設備がある施設は5施設、一部のみ設置されている

施設が7施設、設置のない施設が2施設となっている。今年度は昨年と比較し、異常な高温の状況が続いており、地球温暖化は、今後も続くと思っている。快適な施設利用のために、全ての建物の全域にわたって冷房設備を設置することが望ましいが、冷房が必要な期間や利用者の滞在時間、当該施設の利用状況も勘案し、設置費用の点も含め判断する必要がある。

また、冷房のない町営住宅や一軒家にお住まいのお年寄り等が、気軽にクールダウンをするために交流センターや近くの施設で、一時、冷房に当たって暑さをしのぐとか、暑さ対策を講ずることは、全町民に必要な政策であり、検討、判断、決断をしていきたい。

問

厚労省が実施している「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」(職場における熱中症予防対策)の要綱は、仕事、作業の部分で、最適な温度があり、室温25度、湿度50%の状態が最も能率が上がり、今年のように29度以上の室温になる環境下

では、仕事の効率が15%低下するとある。室温が1度上がることに仕事の効率は2・1%低下することを踏まえ、検討ではなく、「やる」か、「やらない」かをお聞きしたい。

厚労省の発表で、建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令や事務所衛生基準規則では、室温18度以上28度以下、湿度40%以上70%以下をキープすることが望ましいとされている。

町長は、庁舎内及び各施設での室温状況を承知しているのか。職員に対し気温の影響は聞いていたのか。

答

冷房設備の設置は、費用のかかることでもあり、現段階では決断できない。重要性はあると感じるので早急に検討する。今年度は役場職員の執務の効率化を図るため冷房のある会議室への席移動の許可をし、また、応接室等冷房設備のある部屋の扉を開放するなど、執務の効率低下を防ぎ、現場、町民の行政サービスに支障のないよう努めた。月形の場合は、夏場だけでなく冬も逆に寒い場所等があり、老朽化した庁舎の暖房

整備の検討もしている。

問

町長の考えは理解したが、現在の月形樺戸博物館は、以前と違い展示物だけでなく美術品もあり、ギャラリーには冷房設備は設置されていない。安定した温度や湿度管理がない中で、美術品の劣化はないのか。月形の道の駅の構想で「お客さん呼びこむ」という意味も含め必要だと思う。

答

美術品の適温を私どもは掌握していないが、湿度計は展示物のケース内に設置しており、それによって空気を入れ替える装置を備えて対応している。エアコンを全体的に設置する計画があったが、1億円を超える見積り額になり、本町の財政では厳しいという判断に至ったが、今後、しっかりと検討したい。

問

確かに、今すぐできないことは理解するが、早急に検討していただきたい。

(教育長)

町内業者に業務委託ができる機会を与えられないのか？



金子 廣司 議員

《町長》 応札可能か確認しながら指名選考し、
受注機会の確保に努めている

問

公共事業の発注は、地元事業者を優先すべきと、先般6月の定例会の一般質問において主張したが、少しずつ前進していると思う。今回は、町内業者への業務委託について何うが、委託する業務の中には、町内業者でも対応できるものが見受けられる。しかし、町内業者が入札したいと思っても、その機会にも入れない場合がある。

月形町として委託の仕事に対して、この先も現行のスタイルで、町内業者ではなく町外業者を入れて委託事業をする姿勢を続けていくのか、それとも、地元の町内業者を育成する考えはあるのか、お聞きしたい。

答

町として町内業者に対して応可能な業務であるにもかかわらず、町内業者に受注機会を与えることなく、町外業者の委託となっているという事実は、これまでなかったと認識している。

金子議員への6月の定例会においての答弁と重複する部分もあると思うが、委託業務に関わる指名競争入札に参加する業者の指名選考にあたっては、各事業者からの提出のあった競争入札参加資格審査

問

申請書に記載のある受注可能な業務の内容を確認している。事業者から提出された申請書のほか、各事業者の日常の営業活動などによって知り得た情報なども参考にしながら指名選考する。特に町内事業者に対して業務内容によっては応札可能かどうかについて、事業者を確認することに努めながら指名選考し、受注機会の確保に努めている。

業者が入札参加資格を申請し、役場が業者を評定するにあたり、業者が評価資料を役場に提出しているが、その資料の中に「公共機関での実績」という文言が入っている。この文言を使うと、まず町内業者がやりたくてもやれないのが、現状である。公共機関での実績でいえば、現管理事業者か、もしくは前の事業者しか対象にならない。これでは、月形町での受注実績がないと応札できないという実情がある。町長の答弁は、一般論であり、実際に町内業者が入札できるようにするためには、現実には「公共機関での実績があるもの」という文言を外す必要がある。

答

また、町内業者に有資格者がいるかどうかの調査などしているのかどうか、伺いたい。公共機関での実績があるのか、ないのかというものを、取扱要綱から外すことが可能かどうか現場と確

活動経過報告

9月3日	岩見沢分会消防連合演習	9日	広報特別委員会
5日	令和5年第3回定例会	13日	まちづくり常任委員会
5日	全員協議会	16日	士幌町議会行政視察対応（議長・副議長）
7日	令和4年度各会計決算特別委員会	23日	広報特別委員会
8日	第3回定例会	24日	樺戸神社新穀感謝祭（議長・まちづくり常任委員長）
19日	全員協議会	25日	議会運営委員会
10月3日	まちづくり常任委員会	24日	月形町福祉でまちづくり推進フォーラム（副議長・滝口議員）
13日	令和5年第3回臨時会	25日	月形町福祉でまちづくり推進フォーラム（副議長・滝口議員）
20日	全員協議会	12月5日	令和5年第4回定例会
20日	町議員研修会（道議会）	6日	全員協議会
23日	広報特別委員会	6日	広報特別委員会
11月2日	月形町町制70周年記念式典	12日	広報特別委員会
"	表彰・受賞者祝賀会	12日	大字：基本全員参加議長の単独会務については省略

認していく。また、中小企業等振興基本条例をもとに、町内業者の育成をしていき、業務委託につなげていきたい。



東出 善幸 議員

札沼線バスマ月形駅停留所の位置変更と 新たな停留所と待合所の設置を

《町長》現在の停留所位置は安全上変更できない。
新たな停留所と待合所はしっかり検討する

問

町内に住んでいる方で、土日祝日を除く毎日、札沼線バス（とへく号）とJR学園都市線を乗り継いで、札幌の病院へ通院している方がいる。高齢のため車は所有しておらず、自宅からバス停留所月形駅の待合所（トイレ横の簡易なもの）まで歩いている。また、体力的なこともあり、余裕を持って自宅を出るため、日によっては30分程度バスを待つことがある。この便のバスは、ほかにも数名の方が利用している。今回の町道新設により、バス停留所が待合所から少々離れてしまい、バス利用者から「不便になった」との声も聞かれる。バス停留所の位置を、待合所近くに設置することはできないか。

答

各バス路線の月形駅停留所は、旧石狩月形駅前となつてはいるが、現在の町道の新設工事に伴い、従来の停留所位置から役場側に約30メートル移動し、トイレ（待合所）からは約60メートルの位置とした。位置の変更につ

答

旧ゆづき前については、さくらコーポ駐車場からの出入口の見通しが悪くなる可能性があり危険であると判断した。さくらコーポ駐車場内については、バスの方向転換が容易ではなく、駐車場の利用者等の安全確保、車両等の動線確保の十分な対策ができないと判断し、いずれも断念せざるを得ないという判断に至った。

問

現在の待合所は、屋根はなく、風が付いた雨や雪に対応できていない。トイレ横という景観上もあり、利用者からは違う場所に停留所と待合所を設置してほしいとの声がある。町道完成後、新たな停留所と待合所をセットで、利用者が使いやすい方向での設置を考えられないか。

答

待合所の設置については、バス利用者等の意見、要望を踏まえて、月形駅前に限らず町全体の状況を考え、必要に応じて規模や機能も含めて設置を検討していきたい。

問

利用者の方々の声を聞くということだが、どのような形で行おうと考えているか。

答

担当者が直接、定期的に地域交通活性化協議会では、バス事業者、利用者も参加している会議だが、いろいろな議論ができる場である。それから、私は毎朝、役場前に立つて、バスを待つ利用者に声をかけて話を聞いている。町はどのように要望、意見を把握するのかわからないのは、今、言ったような形で、あらゆる機会を捉えて、今後もしっかりやって、良いものにしていきたい。

問

再度聞くが、前向きに検討するということがよろしいか。

答

このことについては、大事なことであると思つてはいるので、しっかり検討し、良いものにしていくことを約束する。

問

旧ゆづき前やさくらコーポ駐車場に、停留所の位置を移動できるよう事業者と協議できないか。

トップによるセールス・情報収集 早急、具体的な取組みを



我妻 耕 議員

《町長》いろいろな機会で、しっかりやっていく

問

いよいよ町民保養センターの改修、道の駅の登録へとつながる皆楽公園エリアの整備が始まる。来年9月の運営開始や再開後の集客の確保に向けては、町長（トップ）による保養センターや道の駅のセールス（売り込み）と、その機能や取扱い商品の充実、運営の効率化などに向けた他団体等からの情報収集などは、早急な取組みが必要不可欠である。どうあるべきとお考えか。

答

地方自治体のトップとして、地域の振興を図るため地域のイメージアップ、観光振興やイベント、地域特産品などのPRに、さまざまな機会を利用して取り組んでいくことは非常に重要である。町内事業団体との意見交換の場や町民との懇談、また、町外でも、他自治体の首長との懇談、各企業との懇談、国や北海道など関係機関への訪問、北海道選出の国会議員との懇談等の場合は、情報収集やトップセールスを行うことができる機会でもある。効果的にを行うことで、その先の事業実施が容易になる場合もある。

問

これからも、情報収集やトップセールスを積極的かつ効果的に取組んでいきたい。保養センターがもうすぐ休止になり、運営開始まで約1年間ある。その間、トップセールスやトップによる情報収集を、具体的にどのような取り組んでいくのか伺いたい。

答

保養センター、道の駅の拠点として生まれ変わっていくということ、これまで以上にアピールし、月形町が持つ魅力を多くの方に感じてもらえるように取り組んでいきたい。

先日、樺戸監獄物故者追悼式のお礼の言葉でも、来年のリニューアルについてお話しした。また、道の駅アイディア会議に参加していた、だいてる商工事業者や月形高校、ふるさと活性化事業を活用して特産品開発を目指している方など、関わっている全ての方の活動を町内外にアピール、情報発信し、広く話題提供をしていくことも、トップセールスのひとつと考える。先般の月形矯正展において

問

も、トークショーのゲストに皆楽公園について宣伝しショーの中でも話題にしていた。通告書にあるように、どうして行くのか、今までと違うことは何か、こういうことをやりたいなど、具体的なことを伺いたい。

答

残り1年と特別にどこかへ行って何かを説明するとかお願いするだとか、どこかで私が講演会や説明会を開いて特別に具体的にこういう取組みをするということは今のところ、組立ててはいないが、担当も含めていろいろな機会ですっかりやっていくと約束する。今回の議員の質問は、「町長自らもつともしっかりやれ」という叱咤激励ととらえ、必要性は共有する。

問

町長は6月の定例会で保養センターの改修などについて「自分の政治生命をかけて取り進める」、レストランについては「完成後の運営は先頭に立ってしっかりと責任を持ってやる」と決意を述べている。

去年の9月の全員協議会で道の駅のレストランについて

て、高校生レストランを運営している市立三笠高校にトップセールスをしてくれないかと要望があったとき、町長は「私の責任で営業する」と、答えている。ところが、今年の5月、三笠市長にお会いした機会に伺うと、「町長からそういう話は聞いていない」とのことだった。

私たちは昨年、栃木県において町長のリーダーシップのもと、道の駅の運営と、特産品開発を推し進め、全国規模のグランプリまで受賞した茂木町の事例も、視察研修で目の当たりにしている。

取組みには、スピード感が大切であり、残り1年しかないというのは、町長も考えは同じである。やることは、やれることは本当にいっぱいある。気構えを持って取り組んでほしい。

答

わかりました。ありがとうございます。どうぞございます。

令和4年度 決算特別委員会 各会計

質疑要約

決算特別委員長 我妻 耕

議長(大釜)、監査委員(金子)を除く5名で構成

月形町一般会計	介護保険事業特別会計
国民健康保険事業特別会計	後期高齢者医療特別会計
農業集落排水事業特別会計	月形町立病院事業会計

総務費

Q 役場庁舎管理経費の中
の、修繕料590万円
の内容は。〔松田〕

A 役場庁舎の給水管の敷
設工事が100万円を
超え、委員会室の床の張替え
が88万円である。後は20万円
以下の少額の修繕料の積み上
げである。〔総務課長〕

Q 旧知来乙小学校につい
て、管理経費と整備事
業の内容は。〔若井〕

A 旧知来乙小学校はツキ
ガタアートヴィレッジ
として活用されている。管理
経費は、消耗品費、光熱水費、
修繕料であり、これに貸付け
開始までの浄化槽清掃や保守
点検業務等も含まれる。整備
事業としては、旧校舎の屋根
や外壁などの塗装工事、隣接
する木工館の解体を実施し
た。〔企画振興課参事〕

商工費

Q 地域振興商品券の換金
率は。〔滝口〕

A 地域振興券は2回の発
行で、換金率は1回目
が96・8%、2回目目が98・3
%となった。〔企画振興課長〕

民生費

Q 高齢者居宅生活支援事
業の実績と、予算に対
してどのくらい支出したのか
という執行率は。〔東出〕

A 除雪サービスが利用者
12名で延べ100回、
時間数65時間、執行率97%で
あった。配食サービスは利用
者30名、延べ3029食、執
行率は95%となった。見守り
事業は利用者42名、訪問数
650回、電話258回、サ
ポーターによる見守り92回で
執行率99%であった。短期宿
泊業務は実績がなかった。〔高齢支援係主査〕

Q こども園運営経費の増
額の理由は。〔若井〕

A 令和4年度における入
園者数の増加によるも
のである。3歳未満の子ども
の入所が32名と3年度の18名
より増加したこと、利用料は
歳入として入ってくるが指定

管理料が若干増える、町外か
らの広域入所児童も5名とな
っている。広域入所は、保育
士の状況から新たな受入れは
断っている。〔保健福祉課長〕

Q 住民税非課税世帯等へ
の電力・ガス・食料品
等価格高騰緊急支援給付金の
対象世帯数と、実際に申請さ
れた件数はどのくらいで、そ
のギャップがあれば理由を伺
いたい。〔滝口〕

A 対象世帯はおよそ
700世帯で、申請さ
れたのは606世帯である。
申請しない理由は、推察では
あるが、入院などで通知が本
人やご家族に届いていないこ
とが多いのではないかと感じ
ている。〔保健福祉課長〕

農林水産業費

Q 新規就農対策事業、農
業人材力強化総合支援
事業の現状は。〔若井〕

A 新規就農では、令和4
年度に地域おこし協力
隊から2名が就農し、協力隊
には、2名が新たに着任した。
農業人材力強化総合支援事
業は、令和3年度以前に就農
した方が対象で、経営開始後
の生活経営支援の補助金であ
る。〔農林建設課長補佐〕

教育費

Q 総合体育館の温水プー
ルの経費、利用者数は。〔滝口〕

A 体育施設管理経費のう
ちプールの経費は約
320万円である。利用人数
は令和元年度が1002名、
2年度、3年度はコロナによ
って休館や授業の中止などが
あり、それぞれ398名、
545名、4年度は授業も再
開されて686名であった。
5年度は953名となった。
〔社会教育係長〕

歳入

Q 町民税などの収入未済
額について、滞納者に
対する徴収の状況は。〔東出〕

A 令和4年度では、催告
状の発送を年2回から
年3回に増やした。納税相談
が17件あり、そのうち一部納
税された方が11件であった。
現在、滞納者へは電話連絡に
よって来庁につなげ、納税相
談を行っている。〔税務係長〕

Q 町税の不納欠損となっ
た理由は。〔若井〕

A 町民税では貧困と死亡
によって、固定資産税
では相続放棄、軽自動車税で

は生活保護世帯と貧困などが徴収できない理由である。

Q 学校給食費の滞納への対応は。〔東出〕

A 毎月の督促と、年末には訪問も行った。滞納は、令和4年度の5世帯8名分、現在4世帯6名分となっている。〔教育次長〕

Q 歳入決算額が、平成30年度は約34億円で令和4年度は約44億円と、10億円ほど増えている理由は何か。〔滝口〕

A 物価高騰の値上がり分は反映されるが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対応についての事業費が入ってきていること、青果物集出荷貯蔵施設の建設事業、国費によるシステム改修事業などが大きく影響している。〔総務課長〕

介護保険事業特別会計

Q 認定審査会の令和4年度の審査件数が、3年度に比べて100件増えているが、認定者は3名減っている理由は。〔東出〕

A 件数については、以前、介護認定の有効期間を

12か月から24か月に延長したため、4年度は更新者が多い年となり、増加した。認定者数の減少は、死亡や転出などによる介護認定の対象者の減少が要因のひとつと考える。〔高齢者支援係長〕

Q 施設介護サービス受給者の減少、特に要介護5の方の減少が大きい理由は。〔滝口〕

A 施設介護サービス給付については、新型コロナウイルス感染症によるクラスターで施設に入所ができない、また感染による病院への入院とその長期化などによって、入所者より退所者が多くなるなど影響は大きかった。長期入院になり、更新をしていない方もいる。

Q 居宅介護サービスの受給者数の減少より、給付額の減少の割合が大きいのはなぜか。

A コロナの影響で、短期入所や通所型のサービスが、受入れ中止や時間短縮などで受けられなかったことによるものである。

総括質疑

※総括質疑

決算特別委員会において、各会計の審議のあと、すべての会計にまたがって総括的に質問する質疑。

※答弁は、〔教育長〕との記名以外は全て町長によるものである。

A 月形町の基幹産業である農業振興は、いちはん重要で大事であると思っっている。これまでも、全力で農業を支えるため集出荷施設やこめ工房などの整備を進めてきた。これからも、役場の体制について農業振興にシフトして一緒に取り組んでいく。

Q 月形町の特産品の開発について、もう少しのスピードアップと試行錯誤が必要であり、行政も商工農を巻き込んで、道の駅や保養施設のオープンに間に合うように進めてほしい。〔滝口〕

A 振興公社、個人、高校生の子アイデアなど特産品開発が徐々に動き出している。先頭に立つのは私で、町を挙げてしっかりとっていく。

A 道立高校の普通教室のエアコン設置率は、0・1%ではあるが、道教委の予算の中で、全道の高校に設置するというのは厳しい状況である。町の中でも未設置の施設があり、月高からの要望もないなかで、優先して高校に設置することには、少し疑問に思う。〔教育長〕

A 町単独で高校にエアコンを設置することについては私の優先順位も低い。代替的な方法を考えるなど、授業環境への支援は連携してやっていかなければならない。

Q 厳しい経営状況の町内のサービス業に対して、どのように活力を出すのか。〔松田〕

A これまでも、商工業振興に対していろいろ手当をしてきた。「もつと農協商工会、町が三位一体で努力を」と組合長や商工会長にその都度話してはいるが、物足りない思いがある。私がリーダーシップをとって、町振興のためにしっかりとやっていきたいと考える。

Q 町民税の収入減の大きな原因として、人口減とともに農業所得の減少が監査委員から指摘されている。月形町の基幹産業である農業に、もう少し町長の姿勢や役場職員のマンパワーを割けないだろうか。〔滝口〕

A 小中学校にはエアコンが設置されたが月形高校にはなく、今年が暑さのため午前授業になった時もあった。月形高校は道立高校ではあるが、道教委なども協議をしてエアコンの設置を検討できないか。〔東出〕

令和5年 第2回臨時会

第2回臨時会は、7月31日に開催されました。
町長提出議件として、承認1件、議案3件が審議され、すべて承認・原案可決されました。

専決処分の承認を求めることについて (月形町一般会計補正予算(第3号))

歳入・歳出 それぞれ100万円増額し、総額47億3,896万1,000円となりました。
歳入の内容は観光振興に対する寄附の増額、歳出の内容は、つきがたイベント
実行委員会への負担金の増額です。

月形町民保養センター等改修工事請負契約について

建築主体 契約金額 5億4,835万円
契約の相手方 松本・福居・廣野特定建設工事共同企業体
機械設備 契約金額 3億4,540万円
契約の相手方 笠原・日管特定建設工事共同企業体
電気設備 契約金額 1億4,410万円
契約の相手方 永井・南部・香西特定建設工事共同企業体

令和5年 第3回臨時会

第3回臨時会は、10月13日に開催されました。令和5年度月形町一般会計補正予算(第5号)ほか5件が提案・審議され、すべて原案どおり可決されました。

質疑応答

令和5年度補正予算

問 スクールバス車内の児童生徒など置き去り防止装置の設置箇所は。〔東出〕

答 置き去りとなった子どもが車内の非常ボタンを押したり、運転手が車内確認をせずに降りてしまってから5分を過ぎると、自動的に車外に大音量のブザーが鳴る装置を車の上部に設置する。〔教育次長〕

問 下水道の終末処理場は、災害前の状態に完全復旧されるのか。今後の対策はしているのか。〔我妻〕

答 9月4日から5日にかけての大雨による浸水被害で故障した機器のうち、制御に直接関わる計器については、先行して予算を流用し修繕を終えている。この補正で年度内にすべて復旧したい。今回のことを踏まえて、計器類は今後2階に設置する形で対応する。〔住民課長〕



岸田首相はどんな人？

演題 「日本政治の舞台裏」
 講師 田崎 史郎 氏
 政治ジャーナリスト

政治ジャーナリストとして、岸田政権の現状を読み解き、判断材料を提供することが目的である、として講演された。

岸田政権は、主要課題に安全保障と少子化対策を掲げており、安全保障では特に中国への対処が焦点で、防衛費の増額や対中国の防衛力強化が必要とされた。少子化対策で

は、男性の育児休暇の取得率を改善すべく、目標として2030年に50%（給与の67%支給）、2050年に85%（給与の80%支給）という制度設計を検討。いわゆるワンオペ育児（母親のみが育児）ではなく、男性が育児参加する社会を目指す。ただ、低賃金や未婚率の高さなど、少子化問題は複雑ですぐに解決するのは難しい、と指摘された。

岸田政権の特徴として、中枢と一般議員との距離が遠く、政権運営に対する一般議員の不安・不満があると述べられた。また、岸田首相の個人的な特徴として、権力（特に人事権）に対する執着が強い、忍耐力がある、非常に頑固と述べられ、政権運営に特徴が表れているとされた。

今後のテーマは、衆議院の解散時期、医師会との対決（診療報酬・薬価を下げる）、3・5兆円ともいわれる少子化対策の財源確保などがあげられた。

北海道町村議会議員研修会

平和はいつ戻る？

演題 「ウクライナ危機後の世界と日本」
 講師 五百旗頭 真 氏
 ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長

最後に「政治は人間関係で動いており、人事も関係した貸し借りで成り立っている」

との締めくくりが述べられた。

ロシアによるウクライナ侵攻の背景や、欧米の制裁効果、中国が台湾に関与する可能性、そして日本の外交・安全保障上の対応について講演された。

プーチン体制は意外にも弱く、ウクライナの激しい抵抗が予想以上である一方で、ロシアは産業国家として未成熟で、欧米の経済制裁が効きにくく、終息への見通しは立たない、と指摘された。

現状では、中国がロシアと連動して武力行使に動くことはなく、対米関係に力を入れている。一方、米国では警戒感から対中強硬論が強まっている。

日本では、専守防衛から反撃能力への意識が高まっている。自助努力とともに日米同盟を強化し、国際社会との多方面の連携を通じて有事を回避するべき、と述べられた。



議員研修



7月12日 栗山町カルチャープラザEKI

空知町村議会議員研修会

DXって何のこと???

演題 「議会のデジタル化からDX・高度化へ」

講師 おさない しんご 長内 紳悟 氏

早稲田大学マニフェスト研究所

ローカル・マネージャー(兼)招聘研究員



DX(デジタル・トランスフォーメーション)の考え方で、DXを用いて議会運営をどう構造変革し、高度化するかについて講演された。

DXは、デジタル技術を活用して新しい価値を生み出し、仕組みを変える「あり方」を変革することを指す。同じくデジタル技術を使う「ICT化」があるが、これは効率化を目的に、情報通信技術に置き換えることで、「やり方」を変えること。ICT化は「やり方」の変革を指すが、DXでは「あり方」の変革を重要視して追求するものと説明された。

議会におけるDXの目標は、本質的な議会の役割を変えずに、デジタル技術を通じて住民との関係を深め、議会の「あり方」を課題解決型に構造変革すること。例として、住民に情報を早く提供するため、動画による広報やデジタル技術を活用した議事のテキ

スト化(文字化)が挙げられた。現在進行形で情報提供することで、住民参画を促進し、議会活動に関心を知ってもらうことが狙いとされた。

次に、話し合いから、より良い政策を決めるために、DXも含めた事例が紹介された。議事などをデジタル技術で即座にテキスト化(文字化)し活用することや、今の高校生が学んでいる話し合いの基本として、ダイバート(討論)よりディスカッション(議論)を重視して、平等な関係で自由に意見を交換し合うことが、より良い政策形成につながる」と強調された。

議会における、具体的なICT化からDXへの過程として、タブレット端末の導入や印刷物の削減、災害時の即時情報共有などがあげられた。DXでは、単なる事例や意見・思い込みだけでなく、デジタル技術を活用した調査データの分析から事実を読み取り、自治体の方針を決定・修正することが求められる。議員はDXによる行政の高度

化に対応できるよう、データ活用能力を向上させる必要がある。

また、住民とのコミュニケーションを深め、行政監視・政策提起能力を強化し、社会のデジタル化に対応して議会運営の高度化・効率化を図り、行政の進化に貢献することが期待されていることを、さまざまな事例を示して述べられた。

全道の町村議員向けの研修では、国際社会や国政の情勢を、専門家の視点で学びました。また、空知の町村議員向けの研修では、自治体のDXに焦点を当て、基礎的な内容や目指す方向性がさまざまな事例を通じて解説されました。住民サービスを維持・向上するため、デジタル技術を活用する手がかりがつかめた研修でした。

第2回

舞い降りて月形
住んで、見て、
感じた月形は！



月形駐在所長 おだじま けんいち 健一さん

『皆さんの子どもたちを 見守る姿に感動！』

町のために頑張る

皆さんに感謝しています

今回は、大学ではロシア語を専攻して、北海道警察に奉職後、通訳としての経験もある、月形町在住7年目の月形駐在所長小田嶋健一さんです。交通安全、防犯講話など、私たち町民にとってもとても顔なじみなお巡りさんです。

「プロフィール」

- ・出身 神奈川県横須賀市
- ・家族 妻、娘と3人暮らし
- ・お巡りさんに憧れて、警察官人生35年。
- ・うち駐在所勤務は19年目。月形に舞い降りて、なんと7年目に突入！
- ・趣味は映画鑑賞。

◎月形町の印象は？

「住んでみてとても温かい空気感で、来て1年目から何年も居たかのように優しくしていただきました」

◎月形町はどんな所？

「ビックリしたのは、月形に来てすぐの春の交通安全運動で、各交差点に本当に

大勢の町民の方が立っておられ、これは衝撃的でした」

「月形に防犯パトロール隊を作りたいと、防犯協会会長にご相談したところ、わずか半年で『月形絆見守り隊』が発足しました。皆さんのパワフルな行動力には脱帽です」

「IP電話も防犯や交通安全などの告知に利用させていただき、事件・事故の未然防止に大いに役立っていると思います」

「月形町には、メロンや花など誇れる農産物がたくさんあるので、もっと多くの方に知ってもらいたいです」

◎月形町議会にひと言！

「頑張ってくれていると思

「インタビューを終えて」

チャイルドカウンセラー、上級心理カウンセラー、メンタルキャリアカウンセラー、婚活アドバイザーのほかに、英語科に加えてロシア語科教員免許など全部で10種類の資格、実はこれらは小田嶋所長がお持ちの資格です。「いやー資格マニアなんです」とのことでしたが、このインタビューの最後に「恩返しを」というのは、こういうことでも何かお役に立てればということでしょう。

月形のままさまざまな場面で防犯、安全にと、温かい眼差し、身振り、そして口調で取り組んでいただいています。そのためまだまだ違うお顔をお持ちであることがわかりました。



います、しかも限られた人数で。私は議会を大切に思い、尊敬しています」

◎これから月形でやってみたいことは？

「休日にボランティアをやってみたいです。せつかくたくさんの資格があるので、それを生かして何か皆さんに恩返しができたら嬉しいです」

新しい議会がスタートして、年の瀬を迎え、そして新年となりました。町民の方々に議会、議員がもっと寄り添えるよう、これからも発信してまいります。今年も良い年でありますように。
(我妻)

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53-2321 FAX (0126) 53-4373
E-mail : gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp

広報特別委員会

委員長 松田順一
副委員長 我妻井二
委員 若井昭
委員 滝口伸